安全の再構築について

資料　交-1

Ⅰ.考え方

○ 市民、利用者から熊本市電に現在最も求められているものは「安全」であり、その再構築は、交通局が目下取り組むべき最優先課題

○「上下分離」や「延伸」は、安全の再構築ができた後の次のステップ

○ また、交通局の最上位計画である「交通局経営計画（2021～2028）」について、来年度、中間見直しを実施

○ 局全体の運営方針を見直すなかで、「安全の再構築」を交通局の主眼に据え、その理念・内容を経営計画に反映させる

Ⅱ.「安全の再構築」とは

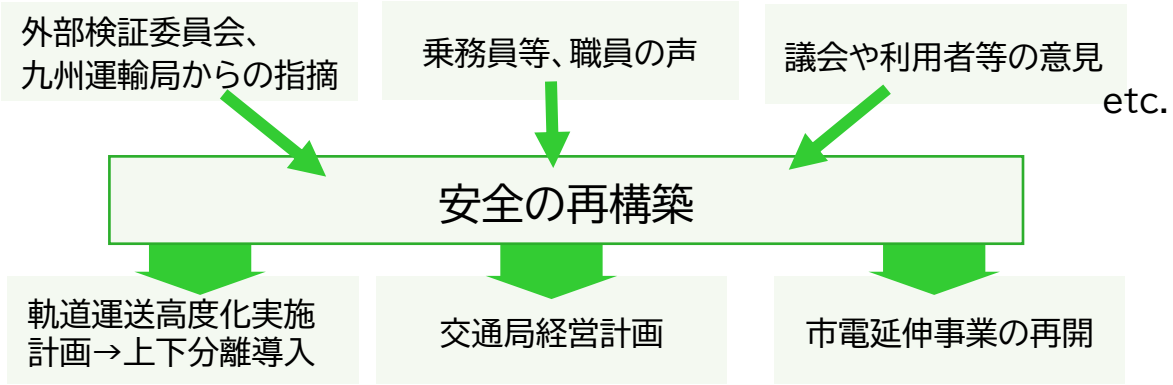
1. まず、以下について改めて整理した上で組織の目指す姿や目標を定める
   - ・熊本市電（公共交通）にとって、なぜ「安全」が重要なのか
   - ・熊本市電では、「どのような点が」「どうして」不十分なのか
   - ・安全を確保するため、何をすればよいか

2. 次に、外部検証委員会の最終報告や九州運輸局の改善指示等も踏まえ、目指す姿や目標を実現するために今後取り組むべき事業を整理する

3. 以上を計画として明文化し、進捗管理する

以上、1～3の一連の作業のことを「安全の再構築」とし、現場職員から管理職まで、すべての職員が同じ目標に向かってそれぞれの業務に真摯に取り組むことで、次の新たな100年に向け、交通局一丸となって生まれ変わろうと取り組む姿を見ていただき、市民・利用者に信頼され愛される熊本市電を取り戻す。

Ⅲ.「安全の再構築」の進め方



Ⅳ. 具体的取組のイメージ

区分	取組
組織	組織全体として「安全最優先」の意識醸成 組織内コミュニケーションの促進（個人面談等の対話を強化） 運転士等の処遇改善 必要な人材の確保と育成　等
ソフト	効果的な指導・教育と適切な効果確認による技術の定着 規程、マニュアルの必要な見直しと整備 内部統制の強化（ルールの遵守） 外部知見の活用（他事業者視察、外部講師研修）　等
ハード	車両の老朽化対策（計画的な車両更新） 施設の老朽化対策（適時的確な軌条更換・軌道整正） 車両、施設の予防保全の強化（点検強化、定期交換の強化） 事故防止に係る交通環境の整備（右折車対策、落葉対策） 労働環境の改善（休憩室、作業場、車内）　等